

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-540	24-304	慶應義塾大学名誉教授 加藤眞三
題名 (原題/訳)		
Oxidative Stress as a Target for Non-Pharmacological Intervention in MAFLD: Could There Be a Role for EVOO? MAFLD における非薬理的介入の標的としての酸化ストレス : EVOO に役割はあるのか?		
執筆者		
Virginia Boccardi ¹ , Luca Tagliafico ^{2,3} , Angelica Persia ² , Elena Page ^{2,3} , Silvia Ottaviani ^{2,3} , Anna Laura Cremonini ³ , Consuelo Borgarelli ³ , Livia Pisciotta ^{2,3} , Patrizia Mecocci ^{1,4} , Alessio Nencioni ^{2,3} , Fiammetta Monacelli ^{2,3}		
掲載誌		
Antioxidants (Basel). 2024 Jun 16;13(6):731. doi: 10.3390		
キーワード	PMID	
エキストラバージンオリーブオイル (EVOO)、代謝機能障害関連脂肪性肝疾患 MAFLD、地中海式食事 (MD)、活性酸素種 (ROS)、酸化ストレス	38929170	
要 旨		
<p>酸化ストレスは、ほとんどの慢性肝疾患、特に非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD) として知られる古い病態の新しい定義である代謝機能障害関連脂肪性肝疾患 (MAFLD) において中心的な役割を果たしている。 遺伝的素因を持つ個体が座りがちな生活様式を採用し、肥満誘発性食事を摂取することで生じる肝細胞脂肪蓄積に至るメカニズムは、ミトコンドリアおよび小胞体の機能不全を経て進行する。これにより活性酸素種 (ROS) の生成、脂質過酸化、マロンジアルデヒド (MDA) 形成が増幅され、慢性炎症や肝損傷バイオマーカー (例: 炎症性サイトカイン) の放出に影響を及ぼす。この病因学的密接な関連性は、脂肪肝治療における酸化ストレスを標的とする治療アプローチ探求の主要な契機となり、これまでに NAFLD 患者を対象に薬剤やサプリメント、栄養補助食品を用いた数多くの臨床試験が実施されてきた。ビタミン E、ビタミン D、シリビニンが最も研究されている物質であるが、特に生活習慣や食事の改善といった非薬物療法も数多く検討されている。</p> <p>食事療法の中でも、地中海式食事 (MD) は肝脂肪症に最も効果的なアプローチと考えられており、特にエキストラバージンオリーブオイル (EVOO) の存在が追加価値をもたらすと推測される。EVOO は一価不飽和脂肪酸 (特にオレイン酸) を豊富に含む健康食品であり、フェノール化合物 (オレオカンタール) やフェノールアルコール類 (ヒドロキシチロソール (HT)、チロソール (Tyr) などのフェノールアルコール類を多量に含む健康食品である。本レビューでは、酸化ストレスを標的とする MAFLD 治療における非薬物療法、特に MD の主要な抗酸化成分の一つである EVOO の役割に焦点を当てる。</p>		